

象 成

大宮北小学校だより
令和4年度 2月号 文責 校長 平野 宗
<https://tm2.tcn.ed.jp/o-kita/>

明治6年12月に本校の前身として開校された『象成學舎』の名にちなみ、学校だよりの題字を象成（しょうせい）としました。



3学期が始まったと思っていたら、あっという間に2月を迎えました。2/4（土）には立春を迎え、ますます春に近づいていきます。
子どもたちは、学年ごとに行われる長縄大会に向け、学級の仲間とともに練習に励んでいます。この大会は、記録よりも協力する心や思いやる心を育てることを目的にしています。一緒に練習を重ねながら、お互いを大切にする関係を深めてまいります。

卒業に向かって、さらなる成長を

6年生にとって、3学期は卒業という節目に向かっていく学期です。ともに過ごした先生や友だちとの思い出をつくることや、これからの人生において必要な知識等を学ぶことを通して、さらに成長してほしいと思います。

社会科校外学習（日光方面）1/18



【日光東照宮の見学】



【華厳の滝の見学】

11月から延期していた校外学習に行ってきました。
徳川家康ゆかりの日光東照宮などを班別行動で見学しました。
世界遺産である建造物や華厳の滝をはじめとする自然に出会うとともに、思い出ができました。

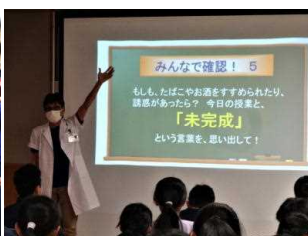
飲酒・喫煙の授業 1/24

保健の授業の一環として、喫煙・飲酒の授業を行いました。学校薬剤師であるすみれ薬局の佐藤博之先生を講師として授業をしました。

子どもたちは、実際にタバコを水に溶かすとニコチンやタールなどが溶け出して茶色になる様子を見て驚いていました。また、アルコールを使ったバッチテストをして、自分がどのように反応するかを確かめました。

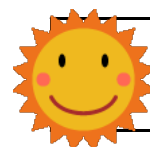


【バッチテスト】



【体はまだ未完成】

最後に、まだ体が未完成のうちでは成長に悪影響が出るので、20歳になったときにどうするかよく考えて判断するようにとの話を聞いて、自分事として考えることができました。



12・1月の「みんながしあわせ」



新年度に向かって



【登校班編制会議】



【登校班確認】

来年度入学を予定しているお子様の保護者を対象とした入学説明会を行い、小学校の学習や生活、持ち物の準備等や集金等について説明しました。入学後しばらくは下校の見守りなどの協力をいただくので、PTA本部役員さんの協力の下校班編制をしていただきました。

校庭に集まった登校班との顔合わせも行い、班長さんからメッセージのカードを渡しました。



おいしい給食に感謝

給食の意義を考えさせ、食に関する正しい知識や望ましい食習慣やマナーを身に付けさせ、給食に携わっている方への感謝の気持ちをもたせることを目的として給食週間を実施しました。栄養教諭や調理員さんへの手紙や作文を書いたり、ポスターを作成したりしました。

給食委員の子どもたちは、お昼の放送を使って、給食クイズや献立への思いを発表するなど大活躍でした。



【給食委員の活躍】



【ポスター掲示】



親子で考える人権週間

校内人権週間の取組の一つとして「子どもの幸せのために」を配付し、多くの方々から読後の感想をいただき、ありがとうございました。感想の一部を紹介いたします。

♡理解しているつもりでも普通の会話で「女の子だから」「男の子だから」と言ってしまってから、「あっ・・・」と思うことがあります。親が正しく理解することで、子どもも多様性への理解を深められると思うので、日常の会話でも気を付けていきたいと思います。
♡読んでやさしい気持ちになります。日常生活の中で相手の気持ちを思いやることや自分の思いや考え方を自分らしく表現できること、みんなと協力できること、周りの人々に感謝の気持ちを持つことを子どもに伝えて共に実践していきたいと思いました。
♡自分の「ふつう」を見直しましょうという部分、とても大切だと思いました。いろんな形があることで、強い心で生きていくことができるようになると思います。いろんなことを認められるよう、まずは知ることが大切ですね。家族間でも話してみようと思います。

学校では、これからも人権尊重について家庭との連携を図ってまいりますので、ご協力をお願いいたします。

学校評価の結果をお知らせします

学校の教育活動の成果と課題を把握するために、教職員、児童、保護者にアンケートを実施しました。保護者の皆様には、アンケートにご協力いただきありがとうございました。それぞれの立場より得られた回答を比較・考察したことをお知らせいたします。

1 アンケート結果

- ※ 数値は「そう思う」「ややそう思う」の合計（％）です。
- ※ 質問のNo.1・2は、保護者と教職員のための質問です。
- ※ 質問のNo.9は、6年生児童のみ対象としています。
- ※ ○印のついた質問項目は、東陽ブロック小・中学校共通です。

No.	質問項目	質問内容	児 童	保護者	教職員
①	学校からの情報発信	学校だよりや各種たより、ホームページ等により、情報を十分に発信している。		89	100
②	地域とともにある学校づくり	地域とともにある学校づくりのために、各種学校行事等を意図的、計画的に行っている。		82	98
③	あいさつ習慣の定着	児童のあいさつ指導に継続して取り組んでいる。	84	70	91
④	家庭学習の習慣育成	宿題等の家庭学習の習慣が身に付くよう工夫しながら継続して指導している。	81	78	96
⑤	学習指導の充実	児童が自分の意見や考えを友だちと交流し合い、考えを広げたり深めたりできるような活動の設定やタブレット等のICT機器を有効に活用している。	72	65	93
⑥	情報モラル教育の充実	インターネットやSNSの使い方について、約束を守って正しく安全に使用できるよう、学年に応じた指導をしている。	94	76	90
7	児童・保護者との信頼関係の構築	児童一人一人の学習状況や友だち関係などを把握し、家庭と連携しながらきめ細やかな指導をしている。	85	72	98
⑧	いじめ防止の推進	教育相談やいじめ防止に関するアンケートを実施するなど、いじめ防止に取り組んでいる。	85	74	98
⑨	小中一貫教育の推進	小中一貫教育を意識して取り組んでいる。	80	65	93

2 結果の考察

- (1) 情報発信は、取組の成果が見られるが、さらに内容の充実を図っていきたい。
- (2) 学校行事等の目的等を家庭・地域と共有する必要がある。

- (3) あいさつや家庭学習の習慣化は、児童・学校と保護者に差が見られることから、家庭との連携を図りながら、習慣の定着に努めていきたい。
- (4) 授業でのタブレット端末活用や対話的な学習に積極的に取り組んでいるが、児童が効果を実感し、保護者にその情報を提供したり、情報モラル教育の充実を図る必要がある。
- (5) これまで以上に児童一人一人に寄り添い、家庭と連携しながら、組織的にいじめ防止に取り組んでいく必要がある。
- (6) 感染症予防から小中間の交流が減っているため、様々な連携・交流の方法を取り入れていく。

3 学校関係者評価について

1 / 30 (月) に第3回学校運営協議会を実施し、委員の皆様から学校評価結果等を踏まえたご意見をいただきました。

- ◇ いじめ防止のため、今後も未然防止、早期対応に積極的に取り組んでほしい。
- ◇ 質問項目によっては、学校の様子を知らないと感じるものがある。もっと学校からの情報発信を工夫するとよい。
- ◇ 学校の取組について家庭で話し合えるように働きかけをするとよい。
- ◇ 各種だよりで、事前に準備段階の児童の様子や活動の目的を知らせるとよい。
- ◇ 自由参観日のように授業を参観できる機会を増やしてはどうか。
- ◇ 小中一貫教育は、中1ギャップの解消のために重要。安心して進学できるように取組を工夫してほしい。

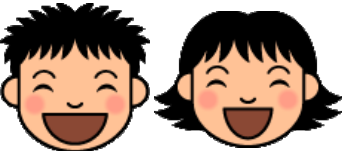
この他、次年度の学校経営方針や課外活動の改善等についても協議していただきました。



努力と栄光を讃える

1月号でお知らせした持久走記録会の6年生の記録では、5年生と同じ1300mの結果をお知らせしましたが、6年生のみ昨年度との比較のため1500mの記録も取りましたので紹介いたします。

個人情報保護のため、HP上での児童氏名は公開しません。



伝えたい想い
たくさん話そう

東陽中学校区の小中学校では、毎月の14日を「トーヨーの日」として、家庭内のコミュニケーションをより深めていくための

『家族団らんの日』としています。